# 甘い話

岸田國士

青空文庫

僕は小供の時分、どんな菓子が好物だつたか、今思ひ出さうとしても思ひ出せないが、生れてから十年近くを過した四ツ谷塩町附近に、松風堂といふ菓子屋のあつたことを覚えてゐるのは不思議である。

その頃写した写真に、巻煎餅をしつかり握りしめてゐる写真がある。

おやぢがはじめて、モルトンといふ西洋風の菓子を買つて帰つて来た。その後、近所の遊び友達も同じモルトンをしやぶつてゐるのを発見したが、彼等はそれをドロツプと呼んでゐた。なぜ自分のだけがモルトンであるかは、永久にわからなかつた。

十七八の頃、自分の小遣で菓子を買ふやうになつて、僕は、しきりにマシマロを買つた。今から考へると、あの粉をふいた五色の肌こそは、ほのかな香りと、滑らかな弾力とを忍ばせて、怪しくも青春第一歩のノスタルヂイを感ぜしめたものに違ひない。

仏蘭西で食べた菓子のうちで、僕がもつと食べたいと思ふのは、ブリオシユとババ・オオ・ロムと、それからマロン・グラアセである。

ブリオシユは、カステラとパンの混血児みたいな菓子だが、舌ざわりは天下一品である。マロン・グラアセは栗の砂糖漬で、日本の甘納豆に当るだらう。元来、栗はシヤアテエニユといふのだが、料理や菓子に使はれる時に限つてマロン即ち「マロニエの実」を云ふらしい。マロニエの実は、ドングリの如く普通食へないものとなつてゐる。

序に、日本でシユウ・クリイムと呼んでゐる菓子は、英国へ行つても仏蘭西へ行つてもその名前では通用しない。英吉利でシユウ・クリイムを持つて来いと云つたら、靴墨を持つて来たといふ落噺（おとしばなし）もできてゐるくらゐだ。僕の判断では、この名前は恐らく、仏蘭西のシユウ・ア・ラ・クレエムから来てゐるのだらうと思ふ。シユウは玉菜（たまな）のことだ。キヤベヂの形をしてゐるといふ意味だ。英語のクリイムは仏蘭西語でクレエム、前置詞と冠詞は日本流に省いて、シユウ・クリイムといふ新しい言葉ができたわけである。

日本では甘党辛党などゝ称し、酒好きと菓子好きとを対立させてゐるが、これはどうも理屈に合はぬらしい。ババ・オオ・ロムの如く、酒入りの菓子があることはその不合理を証明してゐる。

最近僕の義弟Y砲兵少佐が、三年間の巴里駐在を終へて帰つて来た。数々の土産物を取巻いて、われわれはいろいろな土産話を聴いた。その中で僕をふと微笑ました話——

Yは愈々帰朝の内命を受けてぼつぼつ旅の支度に取りかゝつた。下宿の人達は、彼が毎日鞄の蓋を開けたり閉めたりしてゐるのを見てゐた。ある日その下宿の女中は、洗濯物を持つて来た序に、こんなことを云ひ出した。

——コンマンダン！　鞄には、まだ容れる場所がありますの？

——うむ。あると云へばあるし、ないと云へばない。

——出来れば、ひと処空けておいて下さいましね。あたくしから、お国のお子様たちにお土産を差上げたいのですから……。

Yは、それから数ヶ月間、毎日のやうに、この女中から、鞄の隅にまだ空きがあるかを尋ねられた。

さて、明日は巴里を発つといふ日である。その女中は、片手に恭々しくボンボンの小函を捧げてYの部屋を訪れた。

——コンマンダン、これを入れて下さる場所がございませうか……

Yは握り拳で鞄の隅を押しつけた。しかし、あんまり強く押すわけに行かなかつた。そんな函なら幾つでもはいりさうだつたから……

# 青空文庫情報

底本：「岸田國士全集28」岩波書店
　1992（平成4）年6月17日発行
底本の親本：「スヰート　第五巻第三号」
　1930（昭和5）年7月10日発行
初出：「スヰート　第五巻第三号」
　1930（昭和5）年7月10日発行
※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ケ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。
入力：門田裕志
校正：noriko saito
2011年2月8日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 甘い話

岸田國士

2026年10月1日　第二版


## 奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙



青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/